

(5) 令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①知識・技能の習得だけでなく、自ら課題を発見し、他と協働して解決する力などを含む「自ら学ぶ力」を育む学習活動を実践する。</p> <p>②生徒一人ひとりの多様な学習目標や進路希望を踏まえた教育課程を展開する。</p>	<p>①SSHとして、授業力向上をすすめる。対話的な学習などを通じて思考力と表現力を高めるとともに、学力の向上が実現するような授業をめざす。</p> <p>②教育課程で展開される教科において、自分の考えをまとめたり、解決方法について考える場面を設定する。</p>	<p>①授業改善のための研究授業や研修を行い、必要となる資質・能力を整理して教科ごとに明確化する。</p> <p>②各教科で目標に関する場面設定の有無を授業評価で、確認する。</p>	<p>①各教科の授業の中で、継続的に思考力や表現力を育成する取組が行われ、思考力・判断力・表現力に関する問いで肯定的な回答が90%を超えることを目標とする。</p> <p>②場面設定の達成率を40%を超えることを目標とする。</p>
2	生徒指導・支援	<p>①部活動などを通し、生徒の自主的活動を支援し、人間性や社会性を培い、企画力、行動力の向上を図る。</p> <p>②人間性や社会性の醸成基盤となる、安心安全な学校生活が営めるよう、きめ細かな個別支援体制を構築する。</p>	<p>①委員会や部活動、学級活動などを通じて、生徒主体に行われる活発な活動をサポートし、それを通して生徒の能力の伸長を図る。</p> <p>②「気になる生徒情報シート」の基づく情報共有方法の検討や事例の整理を継続し、速やかに連携できるような相談体制の改善と充実を図り、個々に応じた適切な生徒支援を行う。</p>	<p>①生徒総会や委員会を通じて生徒の意見が出せる場を設定し生徒主体の活動の活性化を図る。</p> <p>①生徒の活躍を校内外に周知できるようにHP等広報活動の充実を図る。</p> <p>②「気になる生徒情報シート」に基づく全校的な情報の共有システムの構築と、情報の有機的な活用を行う。</p> <p>②日常的・定期的な支援相談体制を周知し、校内外の連携を意識した生徒支援のために、早めの生徒対応をめざす。</p>	<p>①達成度に関するアンケートを年2回(前期・後期)実施する。各行事や委員会ごとに主体的活動ができたかを調査し、達成率80%を目指す。</p> <p>①体育祭、緑高祭についてHPを更新する。また、各部活動のHP更新を呼びかけ、80%更新を目指す。</p> <p>②情報共有システムや相談体制を活用し、生徒支援のために適切な情報共有や指導、対応が行えたか。その対処は適切だったか</p>
3	進路指導・支援	<p>①進路実現に向け、生徒一人ひとりに応じた支援を行うとともに、幅広い教養を持つ大切さや、主体性と人間性の涵養を図る。</p>	<p>①3年間を見通したキャリア教育の実践を図る。</p>	<p>①3年間を見通した新たなキャリア教育計画を作成・実践する。。</p>	<p>①3年間を見通した新たなキャリア教育実践プログラムを作成することができたか。</p>

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
4	地域等との協働	<p>①地域とともに発展し、信頼される学校づくりを推進する。</p> <p>②後援組織との連携を深め、学校教育支援体制の充実と地域の人づくりのための貢献を図る。</p>	<p>①学校の教育活動を公開し地域からの理解を深める。</p> <p>②後援組織との連携を深め学校支援体制を整える。</p>	<p>①ホームページを通して本校の教育活動の理解を深めてもらう。</p> <p>②後援組織の人材を活用し公開講座の講師を依頼する。</p>	<p>①新たに実施する教育活動について1週間以内にホームページの更新をすることができたか。</p> <p>②後援組織の人材を活用し公開講座の講師を1名以上依頼することができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①全職員が参画し、組織的・機動的な学校運営体制を推進する。</p> <p>②生徒・保護者に信頼される学校を維持するために事故不祥事防止に取り組む。</p>	<p>①生徒の学校生活が安定して継続できるように学習、課外活動や進路に対する支援体制の構築をめざす。</p> <p>②さまざまな視点での事故や不祥事防止への意識を職員間で共有することにより、信頼される組織をつくる。</p>	<p>①教員の研修機会を確保して組織的な学校運営を目指す。また、オンライン授業などに向けた設備の整備を進める。課外活動や進路に対する支援体制の構築をめざす。</p> <p>②日常から職員間での声掛けにつとめて、気になることを放置しない雰囲気づくりに努める。過去の事例に倣い、事故・不祥事防止に向けた方策をたてる。</p>	<p>①研修会や情報交換が昨年度より活発に行えたか。オンライン授業が滞りなく実施できたか。</p> <p>②事故・不祥事防止の意識啓発を、月に1回以上実施することができたか。事故・不祥事の防止のための方策が明確に示されたか。</p>